

目 次

文化経済学会<日本>2018年度京都大会

《凡例》

各発表の討論者については、討論者氏名末尾の上付き数字と発表タイトル末尾の上付き数字を参照してください。

表示例)

① - A 文化価値と文化財

●座長：阪本 崇 ●討論者：清水 裕文<sup>1</sup>

タイトル	発表者
文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通じた持続可能なまちづくりに関する研究 <sup>1</sup>	藤原 恵洋

分科会 ①

① - A 文化施設・文化資源 (RY401)

●座長：宮崎 刀史紀 ●討論者：草加 叔也<sup>1</sup>/友岡 邦之<sup>2</sup>/衛 紀生<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
社会教育機関としての公立図書館における教育普及活動としての文化活動の検討 <sup>1</sup>	岩井 千華	
地域の古写真と住民参加に関する考察 <sup>2</sup>	佐藤 忠文	
劇場、音楽堂等のロビー・ホワイエの開放と各種利用に関する研究 —共用空間を活用した「広場としての劇場」のあり方について— <sup>3</sup>	古賀 愛乃/ 本杉 省三	

① - B コンテンツ文化 (RY402)

●座長：牧 和生 ●討論者：増淵 敏之<sup>1</sup>/牧 和生<sup>2</sup>/阪本 崇<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
日本映画における「自主映画」の概念の変遷と再定義の必要性 <sup>1</sup>	土田 環	
デジタルコミュニケーションはオタク女子の行動様式をどのように進化させたか <sup>2</sup>	梅本 克	
ウェブ小説が出版・コンテンツバリューチェーンにもたらすもの <sup>3</sup>	松本 淳	

① - C 伝統文化 (RY403)

●座長：高島 知佐子 ●討論者：滋野 浩毅<sup>1</sup>／後藤 和子<sup>2</sup>／高島 知佐子<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
茶道経済における価値構造 <sup>1</sup>	太田 直希	
京都の伝統的工芸品産業における同業者町の変容とまちづくりへの展開 <sup>2</sup>	滋野 浩毅	
芸の発信 —京都祇甲の都をどりの創成を中心に— <sup>3</sup>	中原 逸郎	

① - D 計量／理論 (RY404)

●座長：勝浦 正樹 ●討論者：有馬 昌宏<sup>1</sup>／小泉 真理子<sup>2</sup>／勝浦 正樹<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
How does family income influence the consumption of music by teenage children? <sup>1</sup>	谷口 みゆき	
文化・芸術の鑑賞・観覧活動の変化と現状 <sup>2</sup>	有馬 昌宏	
交渉によるチケット価格の設定（ネゴシابل・チケット・プライシング）の可能性 <sup>3</sup>	曾田 修司	

分科会 ②

② - A 創造都市 (RY401)

●座長：佐々木 雅幸 ●討論者：勝又 英明<sup>1</sup>／吉本 光宏<sup>2</sup>／佐々木 雅幸<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
小規模都市を対象としたイノベーション政策の構築手法 <sup>1</sup>	徳久 悟	
地域の「文化政策」はどのように醸し出されるのか？ <sup>2</sup>	岡田 智博	
「創造都市」における企業・人材の集積とその特性に関する考察 <sup>3</sup>	近藤 大蔵	

② -B 地域経済 (RY402)

●座長：河島 伸子 ●討論者：河島 伸子<sup>1</sup>／草加 叔也<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
地方都市の衰退するエリアにおける暫定コンテンツとしての趣味縁 <sup>1</sup>	加藤 康子	
戦後日本デザイン立国化過程における小池新二の千葉大学工業意匠学科デザイン教育から生まれた門下生「よろず会」の成立と展開に関する考察 <sup>2</sup>	藤原 惠洋	

② -C 文化産業 (RY403)

●座長：片山 泰輔 ●討論者：片山 泰輔<sup>1</sup>／藤野 一夫<sup>2</sup>／野田 邦弘<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
マルチメディア産業の持続的な発展と文化の多様性 —サンフランシスコ市・ソーマ地区の国際事例研究— <sup>1</sup>	清水 麻帆	
大阪における音楽文化関連産業の集積について —ライブハウスの現況を中心に <sup>2</sup>	本田 洋一	
工芸産業の振興に関する分析 —文化政策と産業政策の政策統合を中心に <sup>3</sup>	後藤 和子	

② -D アートプロジェクト (RY404)

●座長：熊倉 純子 ●討論者：桧森 隆一<sup>1</sup>／吉田 隆之<sup>2</sup>／熊倉 純子<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
行政主導型アートプロジェクトの意義と課題に関する研究～「さいたまトリエンナーレ 2016」のサポーターを事例に～ <sup>1</sup>	藤原 旅人	
地域芸術祭におけるステークホルダーの研究 —「豊島つなぐプロジェクト」を事例として <sup>2</sup>	山本 暁美	
アートプロジェクトの評価のあり方をめぐって ～別府市、竹田市におけるケーススタディからの学び～ <sup>3</sup>	三浦 宏樹	

### 分科会 ③

#### ③ -A スポーツ (RY401)

●座長：川井田 祥子 ●討論者：弘本 由香里<sup>1</sup>／伊吹 勇亮<sup>2</sup>／小林 真理<sup>3</sup>／勝浦 正樹<sup>4</sup>

タイトル	発表者	頁
「社会的インパクト」形成を視点とするスポーツ振興施策 <sup>1</sup>	米村 真悟／ 横山 勝彦	
スポーツと文化によるポジティブ・ウェルフェア推進政策～地方自治体における政策融合を視点に～ <sup>2</sup>	内藤 正和／ 横山 勝彦	
英国のユニバーサル・アクセス権における倫理規定の成立過程 ―スポーツ放送における公益性へのアプローチ― <sup>3</sup>	小林 墨／ 横山 勝彦	
スポーツとの関係からみたゲームの行動者の属性の変化に関する分析 <sup>4</sup>	仲村 敏隆	

#### ③ -B 観光・食文化 (RY402)

●座長：古賀 弥生 ●討論者：太下 義之<sup>1</sup>／古賀 弥生<sup>2</sup>／井口 貢<sup>3</sup>／金武 創<sup>4</sup>

タイトル	発表者	頁
伝統的な食文化を支える地域農業 ―岡山県真庭市と群馬県昭和村の「白小豆」を事例に― <sup>1</sup>	森崎 美穂子	
都道府県行財政と観光政策：戦略的投資と価値創出に向けて <sup>2</sup>	金武 創	
文化資本としての物語観光 ―近代輸出陶磁器を例に― <sup>3</sup>	古池 嘉和	
Co-Creative Learning Session～食をめぐる学びの冒険～ <sup>4</sup>	青木 幸子	

#### ③ -C 会員企画セッション (RY403)

●コーディネーター：半田 将仁 ●討論者：衛 紀生／石川 清隆

タイトル	発表者	頁
「劇場と社会」 劇場の事業を再定義し、これからの劇場像を描く試み ―「あーとま塾 2017」の成果報告を通して―	遠藤 ちひろ／ 高畑 明尚／ 柴田 博和／ 王丸 英男	

\*発表内容は予告なく変更されることがございます